

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を行うためには、さまざまな手立てが必要であるが、その中の一つとして、ICTの活用の良さを生かした授業づくりに取り組んだ。

ウ 学びの蓄積



デジタルホワイトボードや表計算アプリを活用して、自分の学びの変容がわかるように学びを蓄積している。
自分の学びを必要なときに振り返ることができ、次の活動を調整することができるようになった。

エ 他者参照



自分の目の前にある端末から友だちの考えや活動の様子を短時間で見ることができ、多様な考えを知ることができるようになった。
知ることによって児童は、選択肢を増やすことができ、自分で自分の学びを調整できるようになる。